

事業番号	30
------	----

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市民まつり開催委託事業						担当部	地域活性化営業部			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般事業		担当課	シティプロモーション			
	事業期間	平成12年度以前			~	平成31年度以降			担当係	にぎわい創出係		
	総合計画 新基本計画	施策等	5 産業・交流 18 シティプロモーション 3 魅力あるイベント・まつりを開催します									
			重点事業		実施計画事業	○						
	予算区分	款	7	項	1	目	4	大	3	中	1	
	根拠法令・個別計画											
	目的	何・誰を対象に	市民及び観光客									
		どの様な状態にするのか	市民の幅広いふれあい、交流を目的として、市民・行政・企業が一体となった運営・企画を行い、より多くの市民に親しまれ、参加してもらえるまつりとする。									
		内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆27年度実施内容</p> <p>・市民参加型の交流を目指し、参加する方も見る方も楽しく、また来たくなるようなまつりの実施を市民まつり実行委員会へ委託した。市はその実行委員会の事務局運営を行った。27年度は市制60周年を祝う記念事業として、ディズニーパレードを誘致・実施し、例年にない来場者を記録した。また、市民まつり専用のHPを開設し、プロモーションに努めた。</p> <p>会場: 小牧山、市民会館・市公民館、まなび創造館、メロディーパーク、駅西広場、パレード</p> <p>経費: 市からの委託金、市内外の各事業所からの協賛金</p> <p>◆27年度直接経費の内訳</p> <p>・市民まつり開催委託料 43,132千円</p> <p>【参考】全体の決算56,288千円(内 委託金(直接経費) 43,132千円、協賛金等13,156千円)</p> <p>【現在の会場】</p> <p>「小牧山会場」: メイン会場。歴史と自然溢れる小牧山全体を活用し、親子で楽しめるイベントを多く開催。また、27年度より新たに、信長公にゆかりのある地域のグルメが楽しめる「楽市・楽座」を開催。</p> <p>「市民会館会場」: 「食べる・見る・遊ぶ」のバランスのとれた会場で、幅広い年齢層が楽しめる。</p> <p>※八雲コーナー、こまきフレンドパーク(子どもが遊べる場)、バレエ、琴、民謡等</p> <p>「まなび創造館」: お茶、お花、歌など楽しめる文化会場。</p> <p>「メロディーパーク」: ダンスを中心とした新しい小牧を発見できるような会場。キッズ達があつまる。</p> <p>ご当地グルメフェアを開催し、県外のグルメが楽しめる。</p> <p>「駅西広場」: 市民によるフリーマーケットが楽しめる。市民のふれあい、リサイルの促進が図られる。</p> <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <p>・市民まつり開催委託料 36,000千円</p>									
受益者負担	無											

コスト			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	直接経費		千円	36,000	35,000	43,132	36,000
	費用	正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00
		人件費	千円	5,501	5,501	5,501	5,501
	費用	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	41,501	40,501	48,633	41,501
	対前年比		%		97.5	120.0	85.3
	財源	一般財源		千円	41,501	40,501	41,501
		国・県支出金		千円	0	0	0
		その他財源		千円	0	0	0

		事業番号		30			
業 績	活動指標名	単位	H25	H26	H27		
	総行事数	行事	目標	170	170		
			実績	161	166		
	開催会場数	箇所	目標	6	6		
			実績	5	6		
	成果指標名	単位	目標				
			実績				
	来場者数	人	H25	H26	H27		
			目標	200,000	200,000		
			実績	100,000	185,000		
事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	60周年記念事業として、ディズニーパレードを実施し、昨年度を上回る来場者となった。また、開催会場は昨年と同じ会場数だったが、小牧山会場で新規事業(楽市・楽座)を行い、総行事数が大幅に増加した。目標を達成することができた。より市民が参加できる市民まつりを開催できた。				
		事業実施における課題	ディズニーパレードという特別な事業があり、注目も高かったが、来年度からは通常の事業のみとなる。関心が低下しないように、より魅力的な市民となるように検討する必要がある。例えば、パレードコースを見直し、より各会場のつながりが向上するなど、検討していく。				
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	多くの市民がまつりに関係しており、連帯感の向上に貢献している。また、楽しさを体験することにより、小牧に対する愛着、誇りの向上にも貢献している。				
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	ディズニーパレードなど27年度初めて市民まつりに来ていただいた、市民・市外のお客様が今年度も来てもらうよう、魅力あるまつりにする。各会場が離れていて、つながりが希薄だったが、まつりの華であるパレードを駅前会場付近から市民会館まで行うことにより、各会場の導線をつくるとともに、小牧のシンボルロードである駅前線の活性化を図り、まつり全体を盛り上げる。また、市民まつり実行委員会の企画を行う企画運営部会に学生を参加させるなど、見直し、充実を図る。1~2年以内に旧桃花台線の駅舎等撤去工事により、駅前広場が4~5年間使用できなくなるため、その影響、対策について検討を行う。				
		方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
		判定理由	市民まつりは、小牧市最大の市民総合参加イベントとして定着しており、まちづくりの観点からも必要な事業であるため。市民、行政、企業が協働して行っており、まちづくりの礎の一つである。				
	平成29年度の事業の方向性	29年度以降の改善案	1~2年以内に旧桃花台線の駅舎等撤去工事により、駅前広場が4~5年間使用できなくなるため、市民まつり全体を考え、より魅力的で、まとまりのあるイベント内容、会場編成となるよう調査、研究し、工事が始まる前までに、市民まつり全体の再編を行う。				
		方向性の判定	判定理由				
二次評価	維持	一次評価のとおり。					